

# 八千代市消費生活センター

## 令和7年度11月新規受付相談件数

	当 月 分	前 月 分	年 度 累 計
苦 情	101 件	131 件	884 件
問い合わせ	10 件	13 件	118 件
計	111 件	144 件	1002 件

### 相談の傾向と被害に遭わないための注意点

1 1月の相談件数は111件で、10月と比較すると33件減少しています。

年齢別では、65歳以上の高齢者からの相談は37件で全体の33%を占め、そのうち75歳以上の後期高齢者の相談は23件ありました。

販売形態別の内訳で主な項目としては、通信販売が46件、店舗販売が17件、訪問販売が12件となっています。

通信販売の相談では、定期購入に関するトラブルが7件発生しており、そのほか、プラットフォームのアカウントを乗っ取られたため不正に利用され、身に覚えのない高額な請求を受けたという事案や、インターネットで知り合った人から、怪しい副業や投資の話を持ち掛けられ、被害に遭ったという事案が多く目立っています。詐欺まがいの投資話は、数百万円から一千万円以上もの高額な被害となることから、消費生活センターでは、法律相談を勧めることが多くなりますが被害額を取り戻せるとは限りません。インターネット上では、怪しい儲け話が横行していますので、簡単に儲かる話などないことを肝に銘じていただきたいと思います。

訪問販売では、夏から秋にかけて、本市で非常に多く発生した点検商法による相談が2件と落ち着きを見せていますが、業者の営業活動地域が他市に移っただけとも考えられます。

また、判断力が低下した高齢者宅に業者が次々にやって来ては、高額なガスマン交換工事の契約をさせられ、訪問した介護ヘルパーが気付いたことから、クーリ

ング・オフで対処し、大事に至らなかったという事例もあることから、引き続き注意を怠らないようにしてください。

そのほか、「『明日9時に電話が止まる』と留守電に入っていた」「携帯電話にプラス (+) から始まる番号で『クレジットカードが不正に利用されています』と着信があった」「クレジットカード会社を名乗り個人情報を聞かれた」などの不審な電話に関する相談が時折ありますが、一般的に電話が急に止まるということはありません。また、プラスから始まる電話番号は海外からの着信となりますので、このような身に覚えのない怪しい電話がかかってきても、電話に出ることがないように注意してください。